

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				事業所の相談スペースに掲示している。	可能な限り在宅で自立した日常生活が送れるよう理念を掲げられており大変良いと思います。(居宅)
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				月1回のミーティングや年度開始時に機会を設け研修を行い理解を深めるよう努力している。	全ての職員が事業所の理念を良く理解されており安心できます。(居宅)
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			本年度の予定は、外部より有識者を招き専門技術の向上のための研修を予定している。	アセスメントを効率よく行う方法を教えてもらいたい(訪問看護)
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の保有資格や経験などを踏まえサービスを提供できるよう配慮している。	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				担当利用者ごとのミーティングを行い、病状や状況の把握・共有に努めている	介護職員の気付きを適宜訪問看護さんより報告を頂いており良いと思われる。(主治医)
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				サービス集中時間帯に職員を厚く配置し柔軟に対応できるよう体制を取っている。	利用者の状態に合わせて柔軟に対応できています。(居宅)
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			推進会議で得られた要望には、可能な限り、サービスに反映できるよう努めている。	共にサービスを検討できる機会がしっかりと確保できている。(居宅)
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			契約の際、同意を得た個人情報を使用し、主治医・訪問看護・居宅介護支援事業所などで共有できる仕組みを検討している。	個人情報の管理をしっかり行ったうえで情報提供も的確になされている。(居宅)
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			事業所にて、災害時の研修を行っている。今後、交通安全、防犯対策等の研修を実施していく必要がある。	災害対策には、是非取り組んでもらいたい(家族)
②	利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			原則として、個人情報は事業所外へ持ち出さない。と法人の規定にも定めている。事業所内では、鍵付きキャビネットにて個人情報を保管している。	個人情報は何かあるか分からない世の中なので、今後もきちんと取り組みを続けて欲しい。(家族)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			日頃から生活リズム把握に努めているが、特にサービス開始前、直後には生活リズムの把握に努めている。	利用者個人に合わせたサービス提供の為、的確にアセスメントされています。(居宅)
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			訪問看護からのアセスメントを基に訪問介護計画を作成している。状況に変化があった際は、介護側から看護へアセスメントを報告し、情報共有している。	介護・看護それぞれの観点からの的確にアセスメントされています。(居宅)
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			訪問看護より、留意点や身体的に注意する点などを助言を頂き、計画を立案するようにしている。	無理のない範囲でしっかりとおこなっている計画ができていと思う。(居宅)
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			月に一度のミーティングで計画の見直し、ケアの問題点などを話し合っている。結果を踏まえ計画の修正、継続を判断している。	医師との連携もしっかりされており、今後のリスク等もしっかりと伝達してくれています。(居宅)
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			状況により、サービス内容・サービス時間帯の追加など柔軟に対応できるようにしている。	状況に合わせて柔軟に対応できています。(居宅)
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			月1回のモニタリング報告を行い、その他必要時は適宜行っている。	月1回のモニタリング以外にも適宜、状況報告頂いています。(居宅)
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			担当者会議等で役割分担の把握を行い、体調変化時などは訪問看護へ適宜報告し助言を求めている。	介護職・看護職の連携がしっかりとされています。(居宅)
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			月に1回のミーティングに看護職が参加し、助言や介護側からの質問に答えて頂く機会を設けている。	引き続き連携を図っていきたい(訪問看護)
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			契約書や重要事項説明書にも記載し、契約時にも説明している。	契約時に定期巡回型サービスの特色、メリット、デメリット等しっかりと説明されています。(居宅)
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画を作成後、説明を行い同意を得た上で署名を頂くようにしている、	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			変化がみられる際は、居宅へ報告を行い、家族と本人の意見を取り入れたサービスを提供できるようにしている。	適宜報告頂いています。(居宅)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				月1回のモニタリング報告や変化時の報告を行っている。	適宜報告頂いています。(居宅)
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている			○		地域の資源を活用する計画作成は出来ていないので、今後の課題	定期巡回事業所側からの提案をして頂けるようになると思います。(居宅)
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議等に出席し状況報告や情報収集に努めている。	サービス担当者会議には介護職・看護職の両名参加して下さり的確なアドバイスを頂いております。(居宅)
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		担当者会議などで議題に上がったことはあるが、検討までは至らなかった	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）	○				退院前に訪問看護によるアセスメントを行い、情報収集を行い、多職種の情報共有を図っている。	
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○				
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			ホームページに掲載予定だが、運営会社に変更し遅れている。	参加できない人のためのも早めの公表をお願いしたい(家族)
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			パンフレットを作成し居宅支援事業者への訪問を行っているが、十分とは言えない。	シンプルで分かりやすいパンフレットを作成されており、活用しています。(居宅)
(2) まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		努力が必要	地域ごとに包括センターが分かれているので、実施地域の担当包括に助言を求めているかがですか？(有識者)
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			在宅チームを編成し地域展開を行うことを目的とし準備を行っている。	サービス提供エリアは人員確保が困難との事で、事業所周辺に限られている印象です。(居宅)
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○			
III 結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			達成するための支援を行い可能な限りの支援を行っていくことに努めている	安定した生活ができ、意欲的になる利用者が多い。(居宅)
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				在宅利用者様より、安心して在宅生活を任せられるとお言葉を頂いている。	サービス導入後はほとんどの利用者が安定した生活を送れています。(居宅)